

かえる倶楽部タイムズ

特集 「 尿路結石の治療最前線 」

尿路結石は、“痛み”のイメージが強く、強い痛みがない場合には、
 ついつい放置してしまうことがあります。注意が必要です。

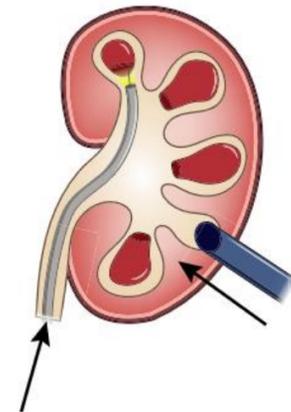
尿路結石の痛みは、結石が尿の流れがせき止める時に起きますが、
 これは腎盂内圧の急激な上昇によると考えられています。

しかし、ある程度内圧が上昇すると、尿の産生が低下し、腎盂、尿管
 が拡張した状態で落ち着き、強い痛みはなくなります。
 そのまま何カ月、何年か経つうちに、腎実質が薄くなり機能が低下す
 ることがあるからです。

何か月、何年と動かない尿路結石は“嵌頓結石”と呼ばれ、周囲の尿管がむくみ、結石と癒着している状態となり、結石を
 砕くことや、取り除くことが困難となります。

通常小さな結石は自然に排石することが多い一方、自然排石が難しい結石は体外衝撃波
 結石破碎術(ESWL)や経尿道的尿路結石碎石術(TUL)などの手術が施行されます。
 大きな腎結石であれば経皮的腎碎石術(PNL)が施行されます。

しかし嵌頓結石の場合、これらの治療では対処が難しい症例が存在します。
 そのような症例ではTULとPNLを同時に行う手術を選択することがあります。
 この手術を“**経皮的経尿道的同時碎石術(ECIRS)**”と言います。



経皮的経尿道的同時碎石術(ECIRS)

当院では2018年より開始しており、修正Barts体位と呼ばれる麻酔管理が容易で体に負担の
 少ない体位で行っています。

TUL、PNLそれぞれに熟練した術者が必要で、実施している施設は限られています。

2021年より最新式のレーザー治療器(Lumenis® Pulse™ 120H)を、
 2022年から細径腎盂鏡(MIPシステム)を導尿し、入院期間も
 7~10日に短縮が可能となりました。“より効率の良い”、
 “より侵襲の小さい”手術が提供できる体制が整っております。
 ぜひご利用ください。



LumenisPlus120H



細径腎盂鏡

尿路結石の治療は選択肢が増えており、年齢や合併症、結石の状況により手術が適応でない場合もありますので、
 詳しくは泌尿器科外来担当医にご相談ください。

【地域医療連携室】

平日 8:30~19:00、土曜日 8:30~12:00
 TEL 06-7501-1406 FAX 06-6458-0347

Facebook

 Facebook

<https://www.facebook.com/kanden.hospital/>

Twitter

 Twitter

https://twitter.com/kanden_hsp